

ニジマス河川放流効果試験

担当者 技 師 甲 地 武 夫
" 三 田 治

I 目 的

河川でニジマスを越冬させると放流効果が落ちることから，春稚魚を放流して秋に取揚げ，経済的に成立させることが可能か否かを検討する。

II 試 験 概 要

1. 放流河川の概要

- 1) 河 川 名 一本木川
- 2) 河川の過程 1.2 Km
- 3) 平均流巾 5 m
- 4) 流 水 量 1.4 0 個

2. 放 流 概 況

- 1) 場 所 十和田市三本木
- 2) 時 期 昭和38年5月17日
- 3) 放流尾数 10,000尾
- 4) 魚の大きさ 平均体長 3.3 cm 平均体重 0.3 g

3. 放流地点の概況

- 1) 流 巾 5 m
- 2) 底 質 砂 礫
- 3) 最大水深 2 m
- 4) 流 水 量 1.4 0 個
- 5) 水 温 15℃
- 6) 備 考

一本木川は灌漑用人工河川のため川巾，水深，水量共に一定しており，特に稚魚の害敵と思われるヤマベ，イwana等は極めて少なく，養魚場から近距離であり，管理上は好条件のところである。

4. 漁 獲 調 査

- 1) 時 期 昭和38年9月5日（試験期間 112日）
- 2) 流 水 量 0.5 個
- 3) 水 温 16.7℃
- 4) 漁獲尾数 2,500尾
- 5) 漁獲重量 28.25 Kg
- 6) 魚の大きさ 平均全長 10 cm 平均体重 11.3 g
- 7) 魚 法

堰止めによる減水後，投網6ヶ続，掬網12ヶ続を以って捕獲した。

8) 漁獲範囲

堰堤Aより堰堤Cの下流約50mの範囲内で平均して採捕された。

Ⅲ 試 験 結 果

1) 再 捕 率 2 5 %

2) 増 重 率 9 4 1 % $\left(\frac{\text{漁獲総重量}}{\text{放流総重量}} \times 100 \right) \%$

3) 個体成長比 3, 7 6 0 % $\left(\frac{\text{漁獲魚平均体重}}{\text{放流魚平均体重}} \right) \%$

4) そ の 他 胃内容物は殆んどヨコエビ類であった。

Ⅳ 考 察

再捕率については放流場所及び試験期間が短かったことにもよるが、まづまづの成績であったが成長率は良好といえない。

これから放流する種苗は魚体が大きい程効果的であると思われる。